

8 月の教材リリース日

第 4 週 8/31(木) ※来週だけ、いつもと違い、金曜日でなく**木曜日**のリリースとなります。

9 月の教材リリース日

第1週 9/8(金) ※**9/1(金)**は、教材発行を**お休み**させていただきます。

第2週 9/15(金)

第3週 9/22(金)

第4週 9/29(金)

この教材の使い方について

- (1) 教材は Word ファイルでリリースします。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に、「この英文を暗唱しよう!」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス3~5文を選んでいきます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道!」と教えていただいたことにより、8 月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読んだから仕上げて英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事

<https://asia.nikkei.com/Business/Education/U.S.-Supreme-Court-rejects-affirmative-action-in-college-admissions>

<https://www.bestcolleges.com/blog/how-will-the-end-of-affirmative-action-impact-black-and-latino-students/>

https://www.oeod.uci.edu/policies/aa_history.php#:~:text=11246%20in%201965.-,Executive%20Order%2011246,receiving%20federal%20contracts%20and%20subcontracts.

<https://tarlton.law.utexas.edu/hopwood-v-texas/lawsuit>

https://ballotpedia.org/Hopwood_v._Texas#:~:text=The%20U.S.%20District%20Court%20for,part%20of%20their%20admission%20decisions.

<https://www.the-independent.com/news/world/americas/us-politics/supreme-court-affirmative-action-biden-b2366707.html>

<https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2023/06/29/remarks-by-president-biden-on-the-supreme-courts-decision-on-affirmative-action/>

<https://thehill.com/homenews/campaign/4073726-trump-praises-sctus-ruling-on-affirmative-action-this-is-a-great-day-for-america/>

<https://abcnews.go.com/Politics/lawmakers-react-supreme-court-restricting-affirmative-action-historic/story?id=100483183>

<https://mainichi.jp/english/articles/20230630/p2g/00m/0in/002000c>

1 ページ 単語テスト

- 単語テストからスタートします。QR コードから音声を聴いて、聞こえた単語を書き取って下さい。
- もちろん、音声を聴かないで、先生が教室で声に出して読んでくださった方がもっと良いと思います。
時間がなければ、この単語テストを生徒さんの宿題にして、家でやってきてもらうのも良いでしょう。
- 点線のところで切り取って下さい。上半分はテスト。下半分はテスト後、生徒さんに配って答え合わせしてもらって下さい。
- 単語テストとは、普通は、「プリントに英語が印刷されている→日本語で意味を書く」または、「プリントに日本語が印刷されている→英単語を書く」という形のものが多いと思います。この単語テストの形式は、「耳で聞き取った英単語の綴りを書き (Dictation)、なおかつ、その意味を書く」というもので、英語脳と日本語脳の両方を活性化することをねらったものです。英語ニュース教材「茅ヶ崎方式 英語会」の 単語テストを参考にしました。

2 ページ

Q1 (解答例)「女性、少数派の人種に属する人々、障がいを持つ人々が、可能な限り均等な機会を得られるように保証する方針」

Q2 (解答例) White, Black, Hispanic(Latino), Asian, Native American/Alaska Native, Native Hawaiian, and so on.

★参考資料：U.S. Census Bureau QuickFacts: United States” (2020 年アメリカ国勢調査)

<https://www.census.gov/quickfacts/fact/table/US/PST045222>

● White	75.5%	※White alone, not Hispanic or Latino	58.9%
● Hispanic or Latino	19.1%		
● Black	13.6%		
● Asian	6.3%		
● Native American/Alaska Native	1.3%		
● Native Hawaiian/other Pacific Islander	0.3%		
● Two or mor races	3%		

指導の手引

高校生の生徒さんたちが、最初から資料を調べて回答するのも良いと思います

「まず予測する (何も調べず、自分の知っている範囲、自分のイメージや常識内の範囲で回答する) →それから資料を調べる」の順で勉強すると、記憶に定着しやすくなると思います。

Q3 To raise the number of Black, Hispanic, Native Americans and other minority students at many colleges and universities.

Q4 ★When? → In 1961.

★How? → President Kennedy issued an executive order, directing government agencies to ensure that all Americans get an equal opportunity in employment.

Q5 He prohibited employment discrimination based on race, color, religion, and national origin.

Q6 (賛成派の意見) アファーマティブ・アクションのお蔭で、学校に (白人だけでなく) 様々な人種の生徒たちが増えるので、良いことだ。

(反対派の意見) 少数派の人種の生徒を優遇 (偏見) する制度なので、不公平である。

2 ページ

Q7(1) Cheryl Hopwood and three other students (5段落) を指す／全員、白人 (6段落最終文より)

(2) the University of Texas Law School の入学試験

(3) (解答例) Because they were not admitted to school, even though they had higher grades and test scores than some of the African American and Mexican American students who were admitted. (彼らは、合格していたアフリカ系やメキシコ系の学生たちより良い成績と入試の点をとっていたのに、入試選考で不合格になったから)

Q8 目的① to compensate for past racial discrimination in public education

(アメリカではこれまで、白人が、黒人やネイティブアメリカンの人々に酷い差別をしてきました。そのお詫びの意味をこめて、学校の入学試験で彼らを優遇しているのです)

目的② to ensure diversity in its classrooms

Q9 African Americans, Hispanic(Latino), Native Americans and so on.

Q10 (1)The University of Texas School of Law may not use race as a factor in deciding which applicants to admit in order to achieve a diverse student body. 「テキサス大学法科大学院は、学生たちの人種的多様性を実現するため、受験者を入学させる判断基準に人種を使ってならない。」

(2) The Supreme Court abrogated the decision, saying, “Universities in the Fifth Circuit's jurisdiction can use race as a factor in admissions again.” 最高裁は、1996年の判決を覆し、「第五巡回区控訴裁判所の管轄地区の大学は、学生の入学させる基準として、再び、人種を要因に用いても良い」と言い渡した。

4 ページ

Q1 It ruled that “affirmative action” of Harvard College and the University of North Carolina violates the Constitution.

Q2

★ハーバード大：大学選抜試験において、アジア系アメリカ人の学生たちに対して差別をしていた。(※著者補足：アジア系アメリカ人の学生は成績優秀です。普通に入試の点数の高い順から入学者を決めると、生徒はアジア系ばかりになってしまいます。そこで、点数の高いアジア系アメリカ人を意図的に不合格させて、代わりに黒人やヒスパニック系など他の人種の学生を合格させる、という人為的な操作をしていました。)

★ノースカロライナ大：白人やアジア人の受験者よりも、黒人、ヒスパニック系、ネイティブアメリカンの受験者を優遇していた。

Q3 「学生は(人種)でなく、(個人としての彼や彼女の経験)に基づいて扱わなければならない」

Q4 (解答例)

★句で答えると→treating each student on the basis of race など

★文章で答えると→For a long time, many universities have treated each student on the basis of race, not on the basis of his or her experiences as an individual.

Q5 アファーマティブ・アクションに賛成している。(=6月29日の判決に反対)

理由は、アメリカには人種差別が確実に存在し、この6/29の判決によってその現状を変えることができないから。(「様々な人種の学生がいた方が、その大学がより良い教育機関になるから」などの答えも可)

Q6 アファーマティブ・アクションに反対している。(=6月29日の判決を称賛)

理由は、実力主義により、特別な能力を持った優秀な人々が報われる社会こそが望ましいから。

Q7 Pew 研究所(アメリカの有名なシンクタンクで、ニュースを読んでいると、よく出てきます)のウェブサイトを見て下さい。この資料の棒グラフによれば、「アファーマティブ・アクションの賛成者は36%、反対者は29%、『わからない』と答えた人が33%」となっています。

Q8 解答例

★I agree with Biden's point of view more. Affirmative actions in the U.S. universities aim to promote diversity and equal opportunities for people with all kinds of backgrounds. Minority students have suffered from historical disadvantages, so they should be given good learning environment.

★I agree with Trump's point of view more. Affirmative actions are racial discrimination. All the students should be equal regardless of their races or ethnicities. Schools should admit students based on their grades and test scores, not on the basis of their races and ethnicity.

指導の手引

日本では、「入試の点数や成績で選ばずに、マイノリティ人種の学生を優遇するなんて、おかしい！」と考える人が多いのでは？と思います。

ところが、悲しい事実ですが、日本にもアファーマティブ・アクションはあります。ただし、差別されているのは人種でなく、性別です。

2018 年、東京医科大が医学部医学科の一般入試で、女子受験者の得点を一律に減点し、合格者数を抑えていたことが 2 日、関係者への取材で分かった。理由は、「女子生徒は優秀なので、入試の点数で入学者を決めると、全学生が女子になってしまうから」というのが真相のようです。

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO33701370S8A800C1CC0000/>

こういった男女差別は、他の医大でも行われているという説もあり、一般企業の試験や公務員試験でも、暗黙のうちに行われていると聞いたことがあります。

今回は、日本で起こっているアファーマティブ・アクションまで話題を広げられませんでした。アメリカで起こっていることをよく観察して、自分の学びと肥やしにしましょう。